

e-learning 推進機構支援

ー熊本大学 WEB システム(CMS)保守運用ー

谷口勝紀^{A)}、吉岡昌雄^{A)}、青木敏裕^{A)}、山口倫^{A)}

^{A)}電気情報技術系

1 はじめに

平成 25 年度、技術部から e-learning 推進機構を支援する担当スタッフの異動で、電気情報技術系・情報 WG のメンバー 4 名で担当することとなった。前年度までに行ってきた大学 WEB システムの導入開発支援も一段落し、運用サポート業務も定例ミーティングによる各種不具合報告等の対応を行っていたが、新たに次年度にまたいで、学内で取り扱っている放射線取扱者個人管理システム(PMSR)と e-learning システムとの連携について、検討を開始した。

2 支援内容

大学 WEB システムの運用グループのメンバーは、e-learning 推進機構のメンバーの他、情報基盤センター教職員、広報ユニット、情報企画ユニット、人事ユニット等の支援の基に活動しており、我々は主にサーバサービスシステム等の技術支援を担当した。ミーティング等での障害報告などを行う情報共有が主なものとなった。

本年度、新たに放射線取扱者個人管理システム(PMSR)と e-learning システムの連携について、自動化の検討を開始した。学内の放射線取扱施設を利用する為には、必ず PMSR への登録が必要となる。PMSR では施設利用者の利用者の健康診断情報や利用状況など様々な情報を一元管理している。

放射線取扱従事者には、法令で放射線取扱者教育訓練や、問診の実施が義務づけられている。教育訓練や問診の提出は e-learning システム上で実施しているが、利用する施設や被ばく量等の条件で、受講対象者や問診の提出対象者を手作業で PMSR から抽出し、e-learning システムへ受け渡している。また、e-learning システムの受講記録等の結果についても PMSR へは手作業で移行している。

これらの作業が、年に数回発生する事になり、担当者の負荷は大きいものとなる。そこで、PMSR と e-learning システム間のデータ受け渡しを自動連携化する為の調査を行っている。

3 まとめ

PMSR と e-learning システムの連携調査は、年度末から始めた業務であり、動作システムの調査や、取扱いデータの調査資料の洗い出し等を行うに留まった。PMSR ではシステム運用契約を導入業者と結んでおり、連携システムを導入した場合には、システム障害時の対応について保守契約の改変が必要になる可能性が在る等、技術的な項目以外にもまだまだ調査すべき項目はたくさん残っている。次年度で、技術的な問題や運用上の問題、予算等の状況、システム構築に係る業務量等を勘案し、導入検討を行う。引き続き調査を行い、導入に向けて活動に取り組んでいきたい。

参考 URL : <http://www.kumamoto-u.ac.jp/>